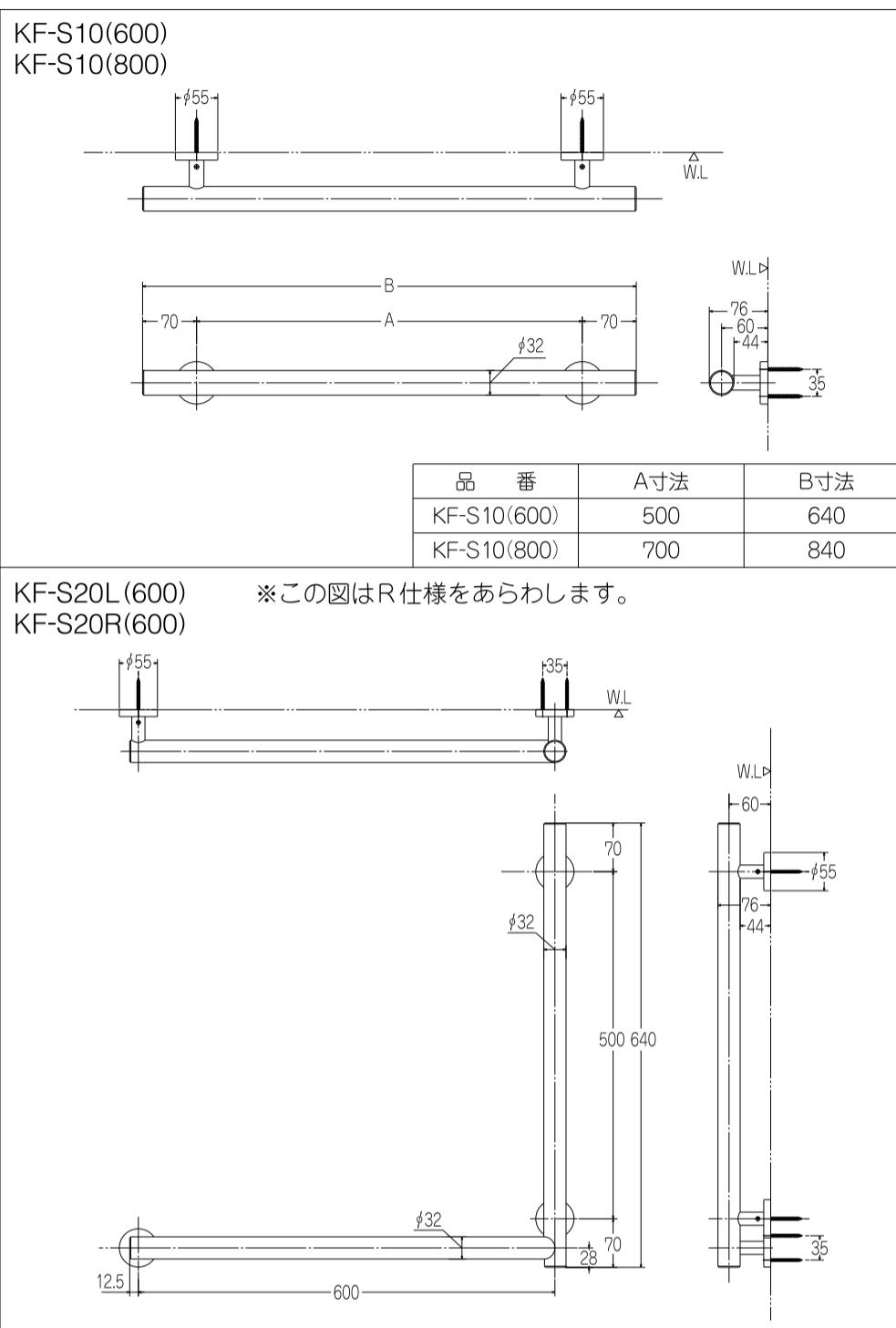


施工説明書

手すりKSタイプ

I型 KF-S10(600), KF-S10(800)
L型 KF-S20L(R)(600)商品の機能が100%発揮されるよう、
本説明書の内容を十分ご理解のうえ
正しく施工してください。

●商品図



●同梱部品

KF-S10(600)
KF-S10(800)

部品名	数量
手すり(ブラケット付)	1
タッピンねじ(Φ5×50)	4
ブラケットカバー(ロゴ入り)	1
(ロゴなし)	1

KF-S20L(600)
KF-S20R(600)

部品名	数量
手すり(ブラケット付)	1
タッピンねじ(Φ5×50)	6
ブラケットカバー(ロゴ入り)	1
(ロゴなし)	2

●安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

注意

……取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。



……「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）



……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）



……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠ 注意

必ず施工説明書の指示どおりに施工してください。

※誤った施工方法をされた場合、商品が外れ、ケガをする恐れがあります。



指示実行

タッピンねじを使用して乾式施工の壁に取り付ける場合は、タッピンねじ固定位置に厚さ40mm以上の補強木を入れておいてください。

※商品及び取付部の壁が破損し、ケガをする恐れがあります。



指示実行

AYボルトを使用する場合は、コンクリート層に確実に固定できる長さのAYボルトを用いてください。（推奨：AY-84）

※モルタル層などで固定すると十分な強度がでないため、ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。



指示実行

手すりにぶら下がらないでください。

※商品及び取付部の壁が破損し、ケガをする恐れがあります。



禁止

手すりに強い衝撃を与えないでください。

※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。



禁止

手すりに強い応力が加わった状態で取り付けないでください。

※商品が破損したり、ケガをする恐れがあります。



禁止

●施工前のご注意

- 商品は壁面に固定してご使用ください。
- 油などの汚れが付着した手で手すりを握らないでください。
- 落下防止のため、取付部材や壁面の構造等について以下の取付条件をお守りください。

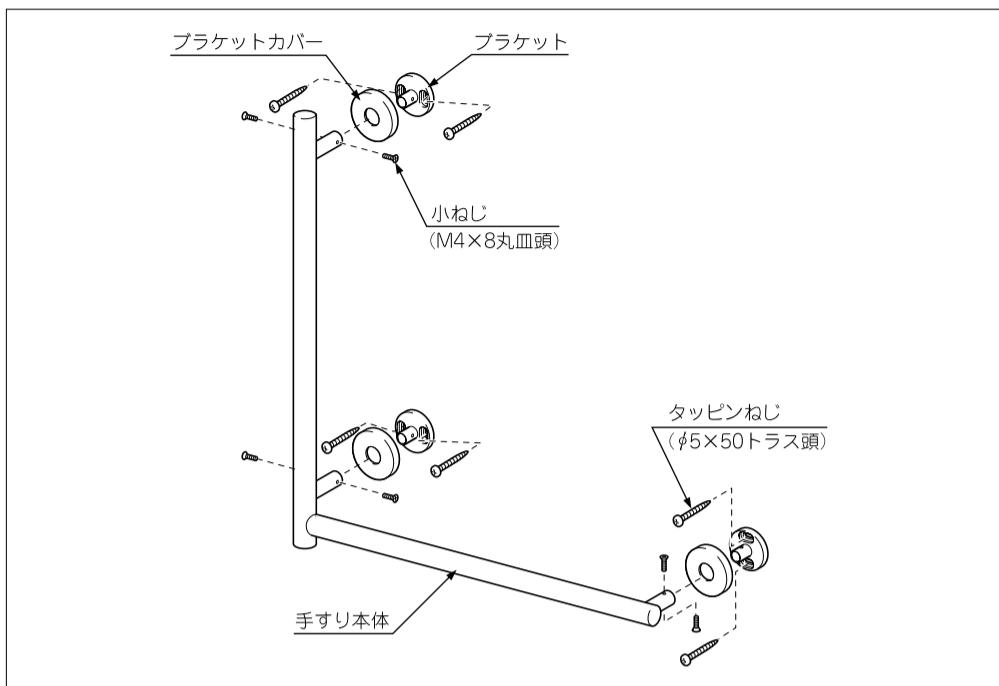
〔乾式壁の場合〕

- 取付部材として付属のタッピンねじを使用してください。
- 手すり取付位置には厚さ30mm以上の補強木を設けてください。
※取付木（補強木）は柱または間柱に固定してください。
- 石こうボード等のボード張りにはタッピンねじはききません。必ずあらかじめ壁裏に取付木（補強木）を入れ、ねじ込み深さを確保してください。
- ボード張りの厚さは12.5mm以下を想定しています。厚さが12.5mmを越える場合は、越えた分だけ長いタッピンねじを別途用意してください。
※付属のタッピンねじ長さは50mmです。

〔湿式壁の場合〕

- 取付部材として、右表のようなAYボルト（別売）を使用してください。
- 下地材はコンクリートとし、取付部の奥行は70mm以上（コンクリートの厚さは40mm以上）を確保してください。
- 壁仕上材（モルタル、モルタル+タイル等）の厚さは20mm以下としてください。
- ALC板やコンクリートブロックの中空部には取り付けできません。
- 木すり下地、ラスボード下地への取付けは、乾式壁と同じようにあらかじめ壁裏に取付木（補強木）を入れ、必要なねじ込み深さ（40mm以上）を確保してください。

●各部の名称

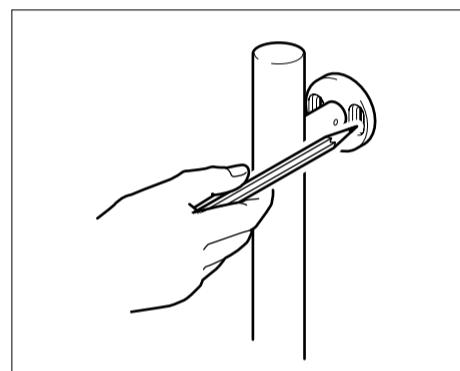


●施工方法

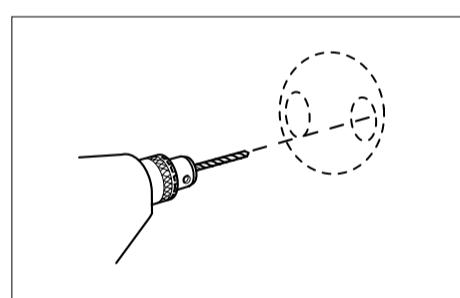
(1)手すりを取り付面に当て、取付位置にしるしをつけます。

施工のポイント

各ブラケットと取付面にすき間が生じていないことを確認してください。
※手すり本体が差し込みにくくなります。

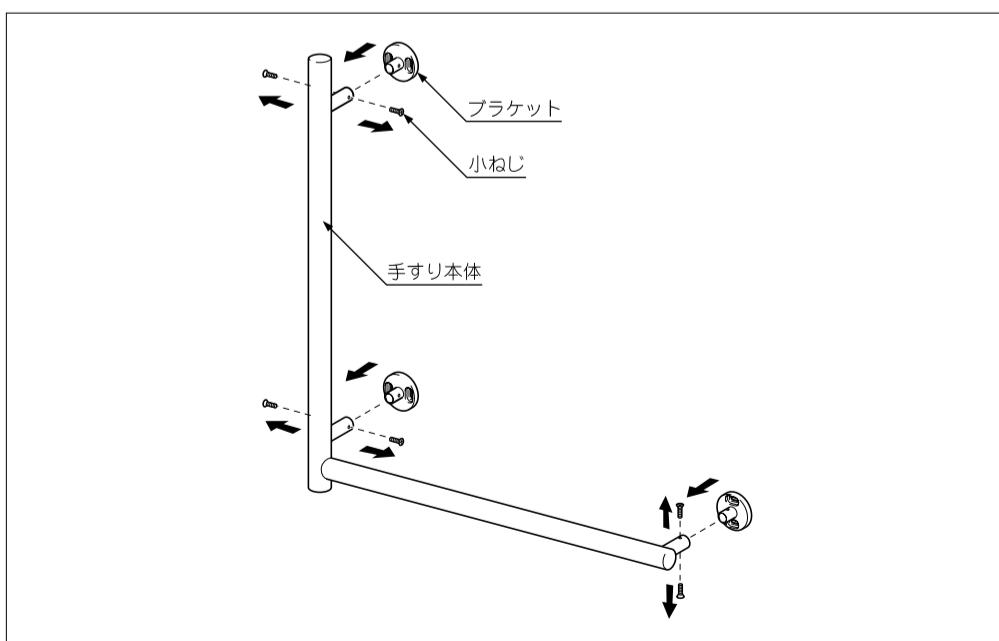


(2)しるしをつけた位置に下表の通り下穴を開けます。

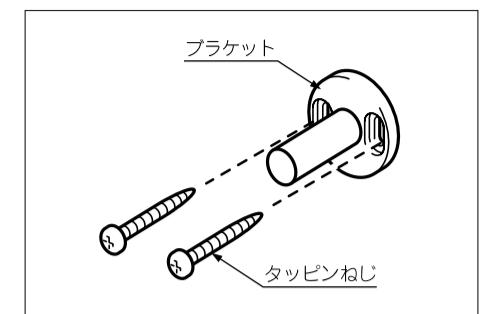


	下穴寸法	備考
タッピンねじ(φ5×50)	約φ3.5×50	付属品
AYボルト(AY-84)	約φ9×60	別売

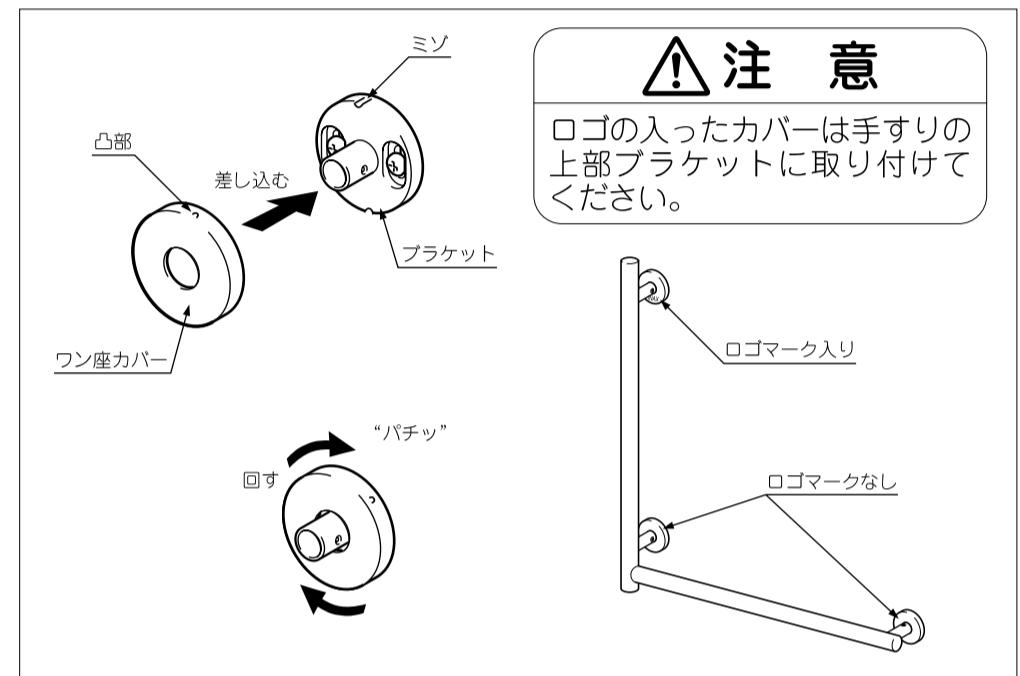
(3)小ねじを外してブラケットと手すり本体をいったん分離します。



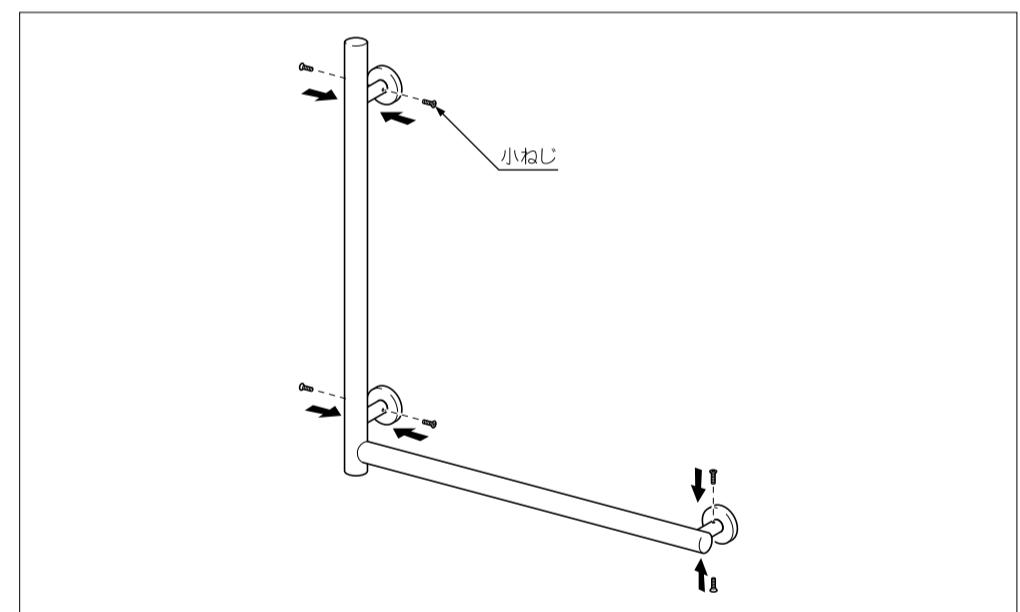
(4)ブラケットを取付面にねじ固定します。



(5)固定したブラケットに、手すり本体がはまることを確認した後、カバーの凸部をブラケットの溝部に合わせてめ込み、パチ音がするまで回転させます。



(6)手すり本体をブラケットに差し込み、小ねじで固定します。



●施工後の注意

手すりにがたつきがなく、しっかりと壁に固定されていることを確認してください。